

## アイデア提案書

提案番号	No.18-8		
提出年月日	平成30年8月31日	受付年月日	平成30年8月31日
所属		職名・氏名	
提案件名	災害時における避難場所の再検討		
提案の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input checked="" type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	危機管理課		
現状及び問題点	<p>7月西日本豪雨災害など災害によって人命や財産が危険にさらされる機会が増えており、マスコミ報道、住民の関心も高まっている。備前市風水害・土砂災害対策マップには、3つの危険区域が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」</li> <li>・土砂災害危険個所（急傾斜地崩壊危険個所、土砂災害危険溪流と被害想定区域）</li> <li>・浸水想定区域</li> </ul> <p>これらの区域は、大雨警報や洪水警報などの警報発令の際には、特に危険が及びやすい区域であり、その区域内から非難することが求められている。</p> <p>しかし、警報発令の際に備前市が開設する避難場所の中には、以下のとおりまさにこの区域内に存在する避難場所が存在する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域（紅葉会館、三国公民館）</li> <li>・土砂災害危険個所（片上小学校など）</li> <li>・浸水想定区域（西鶴山公民館）</li> </ul> <p>また、過去の広島県での豪雨災害の際には、土砂災害警戒区域内にある避難場所に避難した住民が被災するという事態も起きている。</p> <p>先の災害などでも、浸水被害や土砂災害はこうした特に警戒が必要な地域で発生していることもあり、危険が迫っているときには、危険の少ない安全な避難場所に避難してもらうことが最も重要である。</p>		
提案の内容	「避難場所選定基準」を設定し、災害の種類別の避難場所一覧の作成をする。 (参考) 岡山市ハザードマップ		
期待される効果	<p>人命を守るという究極の目的についての議論であるため、市としての方針を明確にし、ゼロベースでの見直しをすべきであり、地域住民に災害に対する知識や理解を深めてもらうことが何より重要であると考えます。</p> <p>また、危険である事が予め判明している避難場所への避難誘導は、万が一の際、法的責任を問われることも考慮すべきである。</p>		
担当課検討	平成27年3月に策定した備前市地域防災計画資料編の資料16には、災害別避		

結果	<p>難所（施設）を備前・日生・吉永地域ごとに148箇所記載している。</p> <p>これは、合併前から指定していたと思われるが、幼保・小中学校や地域公民館などの公共施設のほか、各地区の小規模な自治公民館、集会所も数多くある。自治公民館などの避難所は自主運営に頼っているため、市が避難所の情報を全く把握できていないといった課題や起きる災害によっては避難所として機能しない可能性が高いものも多々あると思われる。</p> <p>また、災害対策基本法等では、市町村長による指定緊急避難所の指定制度が平成26年4月1日から施行されているが、残念ながら本市においては指定できていない。県下のそういった状況にある団体には、今年度中に指定するよう強く促されている。</p> <p>何れにしても災害の種類別に対応できるよう「指定緊急避難所」、「指定避難所」の指定は、今年度中に見直す予定の地域防災計画の中でも重要なポイントとなっている。指定に関する手引きを基に素案はできているので、建設部門、教育部門などの関係部署と協議し、防災会議を経て決定したいと考えている。</p>
----	---

様式第7号(第9条関係)

提案事項審査報告書  
(アイデア提案用)

提案番号 No.18-08	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 災害時における避難場所の再検討
-------------------------

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計 (総合評定)
4.1点	2.7点	4.3点	3.9点	3.2点	3.7点	3.4点	25.3点

優秀賞に至らず

【意見】

- ・先の豪雨災害で同様の認識をした自治体、職員は多いと考えられる。提案された取り組み自体は必要と思われ、また、関係部署との協議及び連携は急務であると思われる。
- ・担当も素案を作成しているとのことなので、このまま担当が進めていく処理で良いと思う。
- ・各地域の実情を十分把握したうえで、検討していただきたい。
- ・この現状は早急に改善すべきと思われます。
- ・昨今の災害状況等を踏まえ適正な避難場所の検討は必要だと思います。
- ・災害時の避難者保護のため、非常に重要な提案であると思います。
- ・もっとも、担当課においても課題を認識し、解消に向けた取り組みを行っているようですので、まずはその進捗を見守ることとし、今回のアイデアとしては不採用とするのが相当と考えます。
- ・必要だと考える。
- ・担当課意見で、素案が出来ているとのことなので見直しが進むとは思いますが、地元調整等が必要な案件のため、アイデア提案として表に出る方がいいのかは検討すべき。
- ・自然災害が多発しており、市民の関心も高い内容だと思いました。人命を守るためにも避難所の再検討は必要だと思いました。